

令和7年度概算要求における 経済産業省宇宙関係予算について

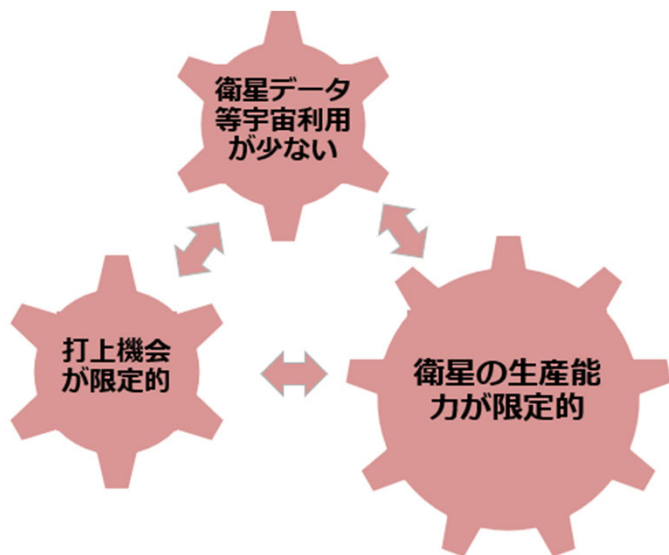
令和 6 年9月

製造産業局 宇宙産業課

産業構造の变革

- これまで経済産業省は機器・技術単位での開発・実証を中心に取り組んできている。
- 課題は「三すくみ」の産業構造の变革。
- 今年度からは、昨年創設された宇宙戦略基金を用いて、衛星コンステレーションの事業化や民間ロケット輸送能力強化に向けた大規模かつ継続的な支援（1,260億円）を順次開始する。
- 今後も、「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」を踏まえ、産業構造の变革につながる取組等を加速させていく。

「三すくみ」の産業構造



「好循環」な産業構造



令和7年度概算要求における経済産業省宇宙関係予算について

事業概要	R7 概算要求等額 (R6当初+R5補正)	既存基金事業の R7執行予定	対応する予算事業名
1. 宇宙予算	22.8億円 (24.4億円+1,260.0億円)	288.9億円	
超小型衛星の汎用バスの開発・実証支援	4.8億円 (15.9億円)		宇宙産業の成長加速に向けた技術開発事業
衛星データを利用した新たなビジネスの開発等に対する支援	3.0億円 (4.3億円)		宇宙産業の成長加速に向けた技術開発事業、 国立研究開発法人産業技術総合研究所運営費交付金
宇宙産業の構造変革に向けた研究開発 (宇宙戦略基金事業)	15.0億円 (1,260.0億円)	※公募中	宇宙産業の成長加速に向けた技術開発事業
宇宙太陽光発電技術の研究開発	0.0億円 (4.1億円) ※内閣府の宇宙開発利用推進費にて実施		宇宙太陽光発電における無線送受電技術の高効率化に向けた研究開発 事業委託費 (令和6年度で終了)
船舶向け通信衛星コンステレーションによる海洋状況把握 技術の開発・実証、 光通信等の衛星コンステレーション基盤技術の開発・実証、 高感度小型多波長赤外線センサ技術の開発		196.8億円	経済安全保障重要技術育成プログラム (令和3年度補正予算)
月面ランダーの開発・運用実証、 衛星リモートセンシングビジネス高度化実証		92.1億円	中小企業イノベーション創出推進事業 (令和4年度第2次補正予算)
2. 宇宙関連予算	71.8億円 (161.6億円) ※以下の金額は各事業における 宇宙関連部分の和		
無人自動運転技術の開発等の衛星データを 活用した各種実証事業	25.8億円 (19.3億円)		次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト、 無人自動運転等のCASE対応に向けた実証・支援事業
次世代素材技術(CFRP等)の研究開発	24.0億円 (38.6億円)		先端計算科学等を活用した新規機能性材料合成・製造プロセス開発事業、 航空機エンジン向け材料開発・評価システム基盤整備事業、 炭素循環型に貢献するセルロースナノファイバー関連技術開発事業 (令和6 年度で終了)、 次世代複合材創製技術開発事業 (令和6年度で終了)
次世代電池(全固体電池等)の研究開発	22.0億円 (18.0億円)		次世代全個体蓄電池材料の評価・基板技術の開発事業
水素関連技術の研究開発	0.0億円 (77.5億円)		水素社会実現に向けた革新的燃料電池技術等の活用のための研究開発 事業 (令和6年度で終了)
半自律システム等の遠隔制御技術の研究開発	0.0億円 (8.2億円)		IoT社会実現に向けた次世代人工知能・センシング等中核技術開発 (令 和6年度で終了)
合計	383.6億円 (382.3億円+1,260.0億円)		

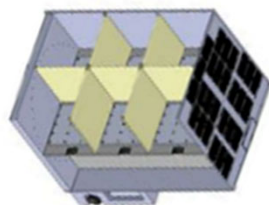
※四捨五入の関係で合計額は一致しない場合がある

1. 宇宙予算（令和7年度概算要求）

（1）超小型衛星の汎用バスの開発・実証支援 4.8億円

- 民生技術を活用した宇宙部品を用いた超小型衛星の汎用バスの開発や軌道上実証を支援する。

低価格・高性能・短納期な
汎用衛星バスを開発



小型衛星コンステレーション
ビジネスの国際競争力の強化

- 通信、観測ビジネス等への活用
- 海外への輸出

（2）衛星データを利用した新たなビジネスの開発等に対する支援 3.0億円

- 衛星データを利用した新たなビジネスの創出の促進するため、多様な衛星データをプラットフォームに搭載し、衛星データ利用環境整備を行う。



国が地域の衛星データを蓄積



衛星データを利用した地域課題の解決に
つながるビジネスを促進

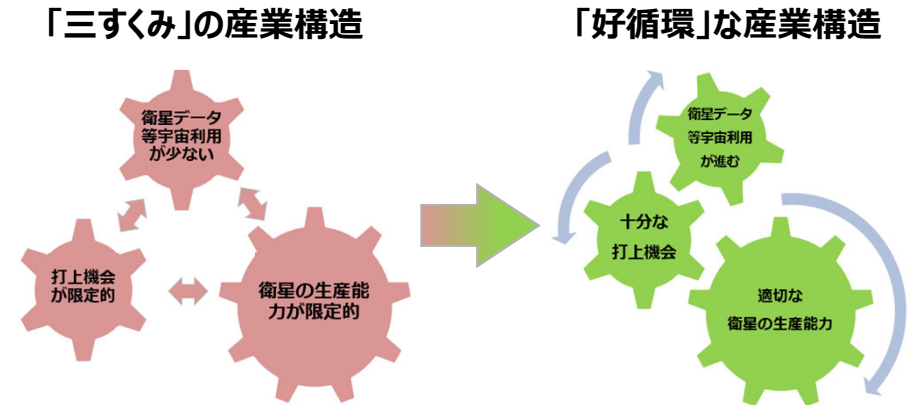
1. 宇宙予算（令和7年度概算要求）（続き）

（3）宇宙産業の構造変革に向けた研究開発（宇宙戦略基金事業） 15.0億円

- 「宇宙基本計画工程表改訂に向けた重点事項」を踏まえ、産業構造の変革につながる取組を加速させていく。

具体的には、

- ① 自立性保持に資する衛星・ロケットの開発製造等の高度化
- ② 社会課題への貢献など衛星データ利用市場の拡大・獲得
- ③ 革新的衛星ミッションへの挑戦などビジネスの創出や多様なプレイヤーの参画



2. 宇宙関連予算（令和7年度概算要求）

（1）無人自動運転技術の開発等の衛星データを活用した各種実証事業 25.8億円

- 無人航空機、自動走行車における準天頂衛星システム等を活用した運行管理・安全技術等の開発・実証を行う。

（2）次世代電池（全固体電池等）の研究開発 22.0億円

- 宇宙利用が期待されている全固体電池やリチウムイオン電池等の次世代電池技術の研究開発を行う。

（3）次世代素材技術（CFRP等）の研究開発 24.0億円

- ロケットや衛星での活用が期待されるCFRPの軽量化技術・接合技術等、宇宙利用可能な次世代素材技術等の研究開発を行う。

<参考>

(参考) 宇宙戦略基金 (昨年度補正) で経済産業省が実施する取組①

衛星コンステレーションビジネスの加速化のための取組

【衛星】商業衛星コンステレーション構築加速化

【支援総額】950億円

【支援期間】7年以内

【採択予定件数】3～5件程度

光通信、小型SAR、小型多波長等の衛星コンステレーション構築を目指す事業者が、**量産・打上げ等のスピードを加速**させることにより、衛星の機能・性能を段階的に向上させ、**衛星コンステレーションの構築及びそれを活用したサービスの社会実装が早期に実現**できるよう、その技術開発を支援する。



衛星コンステレーション

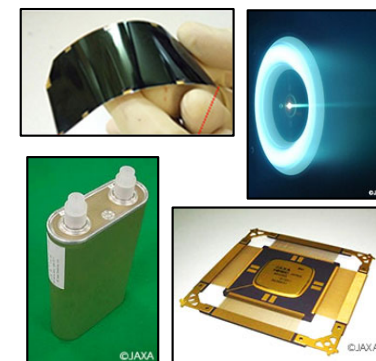
【衛星】衛星サプライチェーン構築のための衛星部品・コンポーネントの開発・実証

【支援総額】180億円

【支援期間】6年以内

【採択予定件数】10件程度

衛星のサプライチェーンの課題（性能、価格、調達自在性等）を解消し、衛星産業全体の自律性を確保し、競争力を強化するため、我が国の衛星サプライチェーン構築上、重要となる部品・コンポーネントの技術開発・実証支援を行う。



出典：JAXA

(参考) 宇宙戦略基金 (昨年度補正) で経済産業省が実施する取組②

民間ロケットの輸送能力強化のための取組

【輸送】固体モータ主要材料量産化のための技術開発

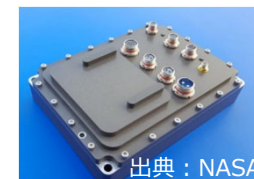
【支援総額】48億円
【支援期間】5年程度
【採択予定件数】1件



我が国が技術的蓄積を有し、基幹ロケット及び民間ロケット双方で活用される**固体モータの量産化**のボトルネックとなっている**主要材料の製造能力強化**の他、**推進薬製造工程の短縮・高度化**に資する**技術開発**を実施する。

【輸送】宇宙輸送システムの統合航法装置の開発

【支援総額】35億円
【支援期間】7年以内
【採択予定件数】1件



地上の管制設備・管制要員・運用コストの大幅な縮減やロケット飛翔時の安全確保等につながる、**自律飛行安全管制ソフトウェア**を搭載した**小型・低コスト・高性能な統合航法装置**及び**自律飛行安全管制システムの地上検証基盤の開発**を実施する。

衛星データ利用ビジネスの促進のための取組

【衛星】衛星データ利用システム海外実証 (フィージビリティスタディ)

【支援総額】10億円 【支援期間】2年以内 【採択予定件数】5件程度

衛星ソリューションビジネスを早期に社会実装するため、**グローバルな市場展開を見据え**、海外の政府機関や現場ニーズの把握、事業スキームの精緻化等のための**フィージビリティスタディ**を実施する。